

令和7年12月17日(水) 5～7限目に、令和7年度「理数ゼミ」「ESD 探究」中間発表会を行いました。

第2学年の理数ゼミ・ESD 探究では、以下の傘(大グループ)に分かれ、各班で研究テーマ(問い)を設定し、研究に取り組んでいます。

理数コース	傘6	作る・流れる
傘2	傘7	支える・助ける
傘3	傘8	生きる・育てる
傘4	傘9	動かす・止める
傘5	傘10	変わる・豊かにする

1班3～5名で、班はクラスを超えて編成されています。各班で設定した問いについて、実験やアンケートを実施し、データをまとめて、ようやく中間発表を行うことができました。中間発表にたどり着くまでに、実験がうまくいかなかったり、アンケートが集まらなかったりと思いつ通りにいかないことも多くありました。その度に生徒たちは班で話し合いを重ね、研究を進めてきました。

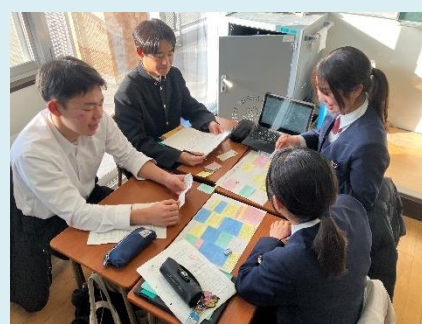
中間発表では、SSH 運営指導委員の先生方や他校の先生方からたくさんの質問や助言をいただき、今後の研究のさらなる発展につなげられる機会となりました。今年6月の最終発表に向けてさらに深まっていくことが期待できます。



「ESD 探究」中間発表会の様子



理数ゼミの発表の様子



いただいた意見を集約しています

### 理数コースの研究テーマ

物理	窓ガラスの色と紫外線透過率の関係
化学	ストームグラス結晶の析出条件について
	ケミカルガーデン 水の硬度と洗剤の関連性と利便性の追求
生物	セキレイ属に見られる尾振りの機能的意義について
	油脂分解バクテリアの分解能と分解条件
情報	五目並べを用いたAIの効率的な学習方法
	ブラックボックス問題解決のためのより良いXAIの研究
	地域の経済活性化法を考える 空振りがとれるスーパーの条件
	Blenderを用いた効率的なシンの形状のシミュレーション
	福岡市から流出する海洋ごみの種類と地形的要因

理数コースで実施している理数ゼミⅡでは、物理・化学・生物・情報・うみつなぎの各分野で全12班が発表を行いました。理数ゼミの授業は毎週2時間連続で実施されるため、時間がかかる実験やパソコンを用いたデータ処理にじっくり取り組むことができます。大学の教授や企業の方と連携をして順調に研究を進めることができた班もあれば、実験やデータ処理がうまくいかず、テーマを設定し直して研究を再出発させた班もありました。今回の発表会で様々な質問や助言をいただき、多くの気づきがあったようです。3月に外部で行われる発表会に理数コースとして参加する予定なので、今回の経験を踏まえ、研究内容をより深めていきます。



理数ゼミⅡ中間発表の様子